

イリジウム錯体の魅力

イリジウム(Ir)錯体の光化学的な応用と聞くと何を思い浮かべるだろうか？ 特に興味は無くても、化学系分野の様々な学术论文に頻繁に登場してくることはお気づきだろう。実際に、発光材料、触媒、光増感剤、バイオイメージング、化学センサーなど活躍の幅は広い。特に最近では、フォトレドックス触媒として有機合成化学者にも広く知られるようになってきている。私は博士課程入学時から Ir 錯体の研究に従事しているが、ここではそのエピソードや魅力について紹介してみようと思う。・・・